

## 1. 保健管理センタ 教職員研究業績

### 1) 著書

齊藤 郁夫

- 1) 齊藤郁夫,他:生活習慣病.中外医学社, 2004
- 2) 齊藤郁夫,他:新しい診断と治療のABC, 高血圧症.最新医学社,2004
- 3) 齊藤郁夫,他: 遮断薬のすべて,第2版.先端医学社,2004
- 4) 齊藤郁夫,他:高血圧診療のコツと落とし穴.中山書店,2004
- 5) 齊藤郁夫,他:NHK きょうの料理,高血圧の食事.NHK 出版,2004

南里 清一郎

- 1) 南里清一郎:日本人診療所と海外医療事情 - 日本人医師だからできること -. はる書房,2004
- 2) 南里清一郎:海外赴任へ向けての感染症対策 - 予防接種を中心として -. 海外邦人医療基金,2004

河邊 博史

- 1) 河邊博史:高血圧.家族が守るお父さんの健康.朝日新聞社,194-195,2004

大野 裕

- 1) 大野裕:今日のうつ病 治療と研究への最新アプローチ/認知療法の立場から.アルタ出版,161-167,2004
- 2) 大野裕:「現代のエスプリ」自傷 リストカットを中心に.至文堂,143-153,2004
- 3) 大野裕:コア・ロ・テ・ション 精神科/抑うつ,うつ病と躁病(1) 精神症状と見方と鑑別診断.金芳堂,152-157,2004
- 4) 大野裕,他:オウン・メンタルヘルス/予防法と自己管理.中山書店,121-135,2005
- 5) 大野裕:精神医学/第 章 精神療法.へるす出版,195-205,2005
- 6) 大野裕:総合健診ハンドブック/ストレス.日本総合健診医学会,45-48,2005

森 正明

- 1) 森正明:かぜ症候群,結核,気管支喘息,アレルギー-疾患,喫煙,肺がん.保健衛生.慶應義塾大学出版会,東京,56-60,60-64,78-81,81-86,96-100,129-132,2004

横山 裕一

- 1) 横山裕一:上部消化管検査.健診,人間ドックハンドブック.中外医学社,東京,168-174,2004

広瀬 寛

- 1) 広瀬寛:肥満型糖尿病の治療.別冊・医学のあゆみ state of arts 2004-2006.医師薬出版株式会社,724-727,2004

柴田洋孝

- 1) Shibata Y: Proceedings of 12th International Congress of Endocrinology (Adrenal nuclear receptors and co-regulators). MEDIMOND S.r.l.,2004
- 2) 柴田洋孝:臨床に直結する内分泌・代謝疾患治療のエビデンス(スピロノラクトン).文光堂,2004
- 3) 柴田洋孝:今日の治療指針 2005年版(副腎インシデンタロ-マ).医学書院,2005

西村 由貴

- 1) 西村由貴:Hareサイコパシ-・チェックリスト改定版第2版.金子書房,2004

### 2) 論文

齊藤 郁夫

- 1) 齊藤郁夫:高血圧のクリティカルパス.実験治療,675:38-40,2004
- 2) 齊藤郁夫:若年者高血圧.動脈硬化予防,3(2):25-29,2004
- 3) 齊藤郁夫:甲状腺異常症と高血圧.ホルモンと臨床,52(5):475-481,2004
- 4) 齊藤郁夫:白衣高血圧,白衣現象の管理方針.血圧,11(8):809-811,2004
- 5) 齊藤郁夫,他:専門医からみたVALUE試験の評価.Therapeutic Research,25(12):2281-2287,2004
- 6) 齊藤郁夫:ウエスト周囲径とBMIの関係.慶應保健研究,22(1):9-12,2004
- 7) 河邊博史,齊藤郁夫,他:家庭血圧値に及ぼす一機会の測定回数および測定日の関与.慶應保健研究,22(1):13-18,2004
- 8) 辻岡三南子,齊藤郁夫,他:女子高校生における甲状腺検診の意義.慶應保健研究,22(1):19-22,2004
- 9) 広瀬寛,齊藤郁夫,他:メタボリック・シンドロ-ムに關与する遺伝子多型の検討.慶應保健研究,22(1):27-34,2004

- 10) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: 女子高校生における骨密度と生活習慣の検討(第二報). 慶應保健研究, 22(1): 35-40, 2004
- 11) 高山昌子, 齊藤郁夫, 他: 高校3年生男子の生活習慣調査の結果. 慶應保健研究, 22(1): 71-78, 2004
- 12) 藤井香, 横山裕一, 齊藤郁夫, 他: 病院職員の腸管感染症発生状況と感染予防策についての検討. 慶應保健研究, 22(1): 79-85, 2004
- 13) 佐藤幸美子, 齊藤郁夫, 他: 湘南藤沢キャンパス(SFC)における保健管理センターの認知度および健康意識調査. 慶應保健研究, 22(1): 87-91, 2004
- 14) 安藤美穂, 齊藤郁夫, 他: 理工学部(矢上キャンパス)における応急処置の現況. 慶應保健研究, 22(1): 93-98, 2004
- 15) 松本可愛, 齊藤郁夫, 他: 女子大学生の月経痛とライフスタイル, 対処能力に関する調査. 慶應保健研究, 22(1): 99-104, 2004
- 16) 肥後綾子, 齊藤郁夫, 他: メタボリック・シンドローム患者の栄養摂取状況と, 摂取脂肪酸組成, 血清脂肪酸組成の関係. 慶應保健研究, 22(1): 105-111, 2004
- 17) 森正明, 齊藤郁夫, 他: 慶應義塾の医療関係者に対する結核対策の改訂 - 定期外結核健康診断受診票と管理力 - ドによる自己管理の強化 -. 慶應保健研究, 22(1): 113-126, 2004
- 18) 横山裕一, 齊藤郁夫, 他: 慶應義塾大学病院医療従事者における院内感染症対策への考察. 慶應保健研究, 22(1): 127-135, 2004
- 19) Yokoyama H, Saito I, et al: Association among lifestyle status, serum adiponectin level and insulin resistance. *Internal Medicine*, 43: 453-457, 2004
- 20) Yokoyama H, Saito I, et al: Association between serum leptin levels and transaminase activities and the status of lifestyle in Japanese workers. *Alcoholism Clinical Experimental Research*, 28: 159S-163S, 2004
- 21) 藤井香, 齊藤郁夫, 他: 大学病院における特定業務従事者の健診システムとその運用. 第5回看護情報研究会論文集: 31-34, 2004
- 22) Nishikai K, Saito I, et al: Effects of leptin receptor gene 3' untranslated region polymorphism on metabolic profiles in young Japanese men. *J Atheroscler Thromb*, 11(2): 74-79, 2004
- 23) Ogawa T, Saito I, et al: Relationships between serum soluble leptin receptor level and serum leptin and adiponectin levels, insulin resistance index, lipid profile and LEPR gene polymorphisms in Japanese population. *Metabolism*, 53(7): 879-885, 2004
- 24) Yokoyama H, Saito I, et al: Inverse association between serum adiponectin level and transaminase activities in Japanese male workers. *J Hepatol*, 41(1): 19-24, 2004
- 25) H. Shibata, I. Saito, et al: COUP-TF and transcriptional co-regulators in adrenal steroidogenesis. *Endocrine Research*, 30: 795-801, 2004
- 26) K. Yokota, I. Saito, et al: Proteasome-mediated mineralocorticoid receptor degradation attenuates transcriptional response to aldosterone. *Endocrine Research*, 30: 611-616, 2004
- 27) S. Kobayashi, I. Saito, et al: FHL2, Ubc9 and PIAS1 are novel estrogen receptor-interacting proteins. *Endocrine Research*, 30: 617-621, 2004
- 28) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: COUP-TF and novel transcriptional coregulators in adrenal cortical steroidogenesis. *ホルモンと臨床*, 52(増刊): 150-157, 2004
- 29) 栗原勲, 齊藤郁夫, 他: コルチゾールおよびデオキシコルチコステロンの過剰産生を認めた ACTH 非依存性大結節性過形成によるクッシング症候群の一例. *ホルモンと臨床*, 52(増刊): 122-134, 2004
- 30) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: アルドステロン合成酵素遺伝子の転写調節. *ホルモンと臨床*, 52: 15-24, 2004
- 31) 柴田洋孝, 齊藤郁夫: すべての高血圧患者に二次性高血圧の鑑別精査をすべきか? *Medicina*, 41(1): 127-128, 2004
- 32) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: 原発性アルドステロン症診断のクリニカルパスと ACTH 負荷副腎静脈サンプリングの意義. *東京女子医科大学雑誌*, 74(9-10): 591-595, 2004
- 33) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: アルドステロン症における血漿アルドステロン/活性レニン濃度比. 第14回臨床内分泌代謝 Update Proceedings, 80(Suppl): 35-38, 2004
- 34) 須田徳子, 齊藤郁夫, 他: アルドステロン分泌過剰を認めたクッシング症候群の一例. 第14回臨床内分泌代謝 Update Proceedings, 80(Suppl): 44-48, 2004
- 35) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: アルドステロン産生における COUP-TF および SF-1/Ad4BP の機能解析. 厚生労働省科学研究費補助金副腎ホルモン産生異常に関する研究班, 平成15年度研究報告書: 35-42, 2004
- 36) 齊藤郁夫: 血圧上昇をきたす睡眠時無呼吸症候群, どう診断し対応すればよいか. *モダンフィジシャン*, 25(2): 167-170, 2005
- 37) Ogawa T, Saito I, et al: GPR40 gene Arg211His polymorphism may contribute to the variation of insulin secretory capacity in Japanese men. *Metabolism*, 54(3): 296-299, 2005
- 38) Morii T, Saito I, et al: Cellular insulin

resistance in Epstein-Barr virus-transformed lymphoblasts from young insulin-resistant Japanese men. *Metabolism*, 54(3): 370-375, 2005

#### 南里清一郎

- 1) 南里清一郎, 他: 小児肥満予防のための食生活指導. 慶應保健研究, 22(1): 1-8, 2004
- 2) 木村慶子, 南里清一郎, 他: インフルエンザの罹患調査: インフルエンザワクチンの有効性. 慶應保健研究, 22(1): 45-50, 2004
- 3) 徳村光昭, 南里清一郎, 他: 神経性食欲不振症患者の学校生活管理. 慶應保健研究, 22(1): 51-54, 2004
- 4) 田中徹哉, 南里清一郎, 他: 学校における神経性食欲不振症早期発見の試み. 慶應保健研究, 22(1): 55-60, 2004
- 5) 武田純枝, 南里清一郎, 他: 女子中学3年生の食事調査 - 3日間記録法と頻度法の比較 -. 慶應保健研究, 22(1): 61-70, 2004
- 6) 藤井香, 南里清一郎, 他: 病院職員の腸管感染症発生状況と感染予防策についての検討. 慶應保健研究, 22(1): 79-86, 2004
- 7) Tokumura M, Nanri S, et al: Height-specific body mass index reference curves for Japanese children and adolescents 5-17 years of age. *Pediatrics International*, 46(5): 525-530, 2004
- 8) 南里清一郎, 他: やせと食事. 小児科臨床, 57(12): 2575-2582, 2004
- 9) 徳村光昭, 南里清一郎, 他: 朝食欠食と小児肥満の関係. 日本小児科学会雑誌, 108(12): 1487-1494, 2004
- 10) 南里清一郎: 小児期からの生活習慣病の予防. 長崎純心大学短大幼児教育, 20(1): 2-16, 2005

#### 河邊 博史

- 1) 河邊博史, 他: 家庭血圧値に及ぼす一機会の測定回数および測定日の関与. 慶應保健研究, 22(1): 13-18, 2004
- 2) 広瀬寛, 河邊博史, 他: メタボリック・シンドロームに関する遺伝子多型の検討. 慶應保健研究, 22(1): 27-34, 2004
- 3) 辻岡三南子, 河邊博史, 他: 女子高校生における甲状腺検診の意義. 慶應保健研究, 22(1): 19-22, 2004
- 4) 藤井香, 河邊博史, 他: 病院職員の腸管感染症発生状況と感染予防策についての検討. 慶應保健研究, 22(1): 79-85, 2004
- 5) 河邊博史: 糖尿病に合併した高血圧の治療ガイドライン - その背景と降圧目標の設定根拠 -. *COMPLICATION*, 9(2): 31-37, 2004
- 6) 河邊博史: 日常のちょっとした「コツ」で血

圧はこれだけ下がる. くらしとからだ, 42: 12-13, 2004

7) 河邊博史: 早朝血圧管理のさじ加減. 日経メディカル, 434: 22-23, 2004

8) 河邊博史: ストレスと高血圧. 慶應義塾医学部新聞, 628: 3, 2004

#### 大野 裕

- 1) Demyttenaere K, Ono Y, et al: WHO World Mental Health Survey Consortium. Prevalence, severity, and unmet need for treatment of mental disorders in the World Health Organization World Mental Health Surveys. *JAMA*, 291(21): 2581-2590, 2004
- 2) Ando J, Ono Y, et al: Genetic And environmental structure of cloninger's Temperament and Character dimension. *Journal of Personality Disorder*, 18(4): 349-393, 2004
- 3) Sakamoto S, Ono Y, et al: Where is help sought for depression or suicidal ideation in an elderly population living in a rural area of Japan. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*, 58: 522-530, 2004
- 4) 大野裕: 若手精神科医からみた21世紀の精神医学 - 卒後教育・研修を中心として -. 精神神経学雑誌, 106(4): 467-468, 2004
- 5) 大野裕: DSM-の歴史と将来. 精神科, 4(4): 247-251, 2004
- 6) 佐渡充洋, 大野裕: 日常診療に生かす認知行動療法. 精神科, 5(5): 349-353, 2004
- 7) 大野裕: プライマリ・ケアにおける精神科疾患への対応. *Pharma Medica*, 22(8): 9, 2004
- 8) 大野裕: プライマリ・ケアで診るうつ病. *Pharma Medica*, 22(8): 11-13, 2004
- 9) 大野裕, 他: 高齢者の心のケアと地域における自殺予防の在り方. 季刊・社会保障研究, 40(1): 36-44, 2004
- 10) 西村由貴, 大野裕: Schizophreniaの日本語呼称の変更と医師の病名告知. 慶應保健研究, 22(1): 41-44, 2004
- 11) 中川敦夫, 大野裕: リエゾン精神医療における認知療法. 精神科治療学, 19: 146-151, 2004
- 12) 大野裕: 統合的治療の中の精神療法. 精神医学, 46(12): 1259-1261, 2004
- 13) 大野裕, 他: 地域における自殺防止対策. 臨床精神医学, 33(12): 1561-1564, 2004
- 14) 大塚耕太郎, 大野裕, 他: 中高年の自殺とその防止対策. 臨床精神医学, 33(12): 1565-1575, 2004
- 15) 渡辺直樹, 大野裕, 他: 自殺予防の支援技術 - 青森県における取り組みから. 保健師ジャーナル, 60(12): 1164-1169, 2004
- 16) 大野裕: うつ病 - 診断と治療の最前線. カレントセラピー - 別冊, 23(1): 7, 2004

- 17) 渡辺直樹, 大野裕, 他: 地域のうつ病予防プログラム. カレントセラピー - 別冊, 23(1): 58-63, 2004
- 18) 佐藤恭子, 大野裕: 青森県名川町での自殺予防への取り組み. 地方自治職員研修, 38(1): 72-74, 2005
- 19) 大野裕: 高齢者の自殺を防ぐ. エイジングアンドヘルス, 32: 16-20, 2005

#### 辻岡 三南子

- 1) 辻岡三南子, 他: 女子高校生における甲状腺検診の意義. 慶應保健研究, 22(1): 19-22, 2004
- 2) 松本可愛, 辻岡三南子, 他: 女子大学生の月経痛とライフスタイル 対処能力に関する調査. 慶應保健研究, 22(1): 99-104, 2004
- 3) 佐藤幸美子, 辻岡三南子, 他: 湘南藤沢キャンパス(SFC)における保健管理センターの認知度および健康意識調査. 慶應保健研究, 22(1): 87-91, 2004
- 4) 柴田洋孝, 辻岡三南子, 他: 女子高校生における骨密度と生活習慣の検討(第二報). 慶應保健研究, 22(1): 35-40, 2004
- 5) 高山昌子, 辻岡三南子, 他: 高校3年生男子の生活習慣調査の結果. 慶應保健研究, 22(1): 71-78, 2004

#### 和井内 由充子

- 1) 和井内由充子: 健康診断における内科診察の今後. 慶應保健研究, 22(1): 23-26, 2004
- 2) 柴田洋孝, 和井内由充子, 他: 女子高校生における骨密度と生活習慣の検討(第二報). 慶應保健研究, 22(1): 35-40, 2004

#### 徳村 光昭

- 1) Tokumura M, et al: Height-specific body mass index reference curves for Japanese children and adolescents 5-17 years of age. *Pediatr Int*, 46(5): 525-530, 2004
- 2) 徳村光昭, 他: 朝食欠食と小児肥満の関係. 日本小児科学会雑誌, 108(12): 1487-1494, 2004
- 3) 徳村光昭, 他: 「やせ」および「脈拍数」を指標とした思春期やせ症のスクリーニング 思春期やせ症の生体リズムとフィットネスに関する研究: 分担研究報告書. 平成15年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書, : 530-532, 2004
- 4) 徳村光昭, 他: 神経性食欲不振症患者の学校生活管理. 慶應保健研究, 22(1): 51-54, 2004
- 5) 徳村光昭, 他: 神経性食欲不振症と運動療法. 臨床スポーツ医学, 22(1): 78-81, 2005
- 6) 福島裕之, 徳村光昭: 思春期やせ症の早期診断における睡眠時脈拍数の有用性 思春期やせ症

- の生体リズムとフィットネスに関する研究: 分担研究報告書. 平成15年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書, : 533-534, 2004
- 7) 渡辺久子, 徳村光昭, 他: 思春期やせ症の実態把握及び対策に関する研究 総括研究報告書. 平成15年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書, : 519-522, 2004
- 8) 南里清一郎, 徳村光昭, 他: 小児肥満予防のための食生活指導. 慶應保健研究, 22(1): 1-7, 2004
- 9) 木村慶子, 徳村光昭, 他: インフルエンザの罹患調査: インフルエンザワクチンの有効性. 慶應保健研究, 22(1): 45-49, 2004
- 10) 田中徹哉, 徳村光昭, 他: 学校における神経性食欲不振症早期発見の試み. 慶應保健研究, 22(1): 55-59, 2004
- 11) 武田純枝, 徳村光昭, 他: 女子中学3年生の食事調査: 3日間記録法と頻度法の比較. 慶應保健研究, 22(1): 61-69, 2004

#### 森 正明

- 1) 高山昌子, 森正明, 他: 高校3年生男子の生活習慣調査の結果. 慶應保健研究, 22(1): 71-78, 2004
- 2) 藤井香, 森正明, 他: 病院職員の腸管感染症発生状況と感染予防策についての検討. 慶應保健研究, 22(1): 79-86, 2004
- 3) 森正明, 他: 慶應義塾の医療関係者に対する結核対策の改訂 - 定期外結核健康診断受診票と管理力 - ドによる自己管理の強化 -. 慶應保健研究, 22(1): 113-126, 2004
- 4) 横山裕一, 森正明, 他: 慶應義塾大学病院医療従事者における院内感染症対策への考察. 慶應保健研究, 22(1): 127-135, 2004

#### 横山 裕一

- 1) Yokoyama H, et al: Association among lifestyle status, serum adiponectin level and insulin resistance. *Internal Medicine*, 43: 453-457, 2004
- 2) Fukuda M, Yokoyama H, et al: Kupffer cell depletion attenuates superoxide anion release into the hepatic sinusoid after lipopolysaccharide treatment. *J Gastroenterology Hepatology*, 19: 1155-1162, 2004
- 3) Nakamura Y, Yokoyama H, et al: Acetaldehyde accumulation suppresses Kupffer cell release of TNF- $\alpha$  and modifies acute hepatic inflammation in rats. *J Gastroenterology*, 39: 140-147, 2004
- 4) 横山裕一: 飲酒によるインスリン抵抗性減少効果はインスリン抵抗性が正常である場合に発揮

される．アルコ - ルと医学生物学，24：141 -143，2004

5) 横山裕一，他：慶應義塾大学病院医療従事者における院内感染症対策への考察．慶應保健研究，22(1)：127 -135，2004

6) 藤井香，横山裕一，他：院職員の腸管感染症発生状況と感染予防策についての検討．慶應保健研究，22(1)：79 -85，2004

7) 森正明，横山裕一，他：慶應義塾の医師関係者に対する結核対策の改訂 - 定期外結核健康診断受診票と管理カードによる自己管理の強化 - ．慶應保健研究，22(1)：113 -126，2004

8) Yokoyama H, et al : Association between serum leptin levels and transaminase activities and the status of lifestyle in Japanese workers. Alcohol Clinical Experimental Research , 28 : 159S -164S , 2005

#### 広瀬 寛

1) Nishikai K, Hirose H, et al : Effects of leptin receptor gene 3' untranslated region polymorphism on metabolic profiles in young Japanese men . J Atheroscler Thromb , 11 ( 2 ) : 74 -79 , 2004

2) 広瀬寛，他：メタボリック・シンドロームに關与する遺伝子多型の検討．慶應保健研究，22(1)：27 -34，2004

3) 藤井香，広瀬寛，他：病院職員の腸管感染症発生状況と感染予防策についての検討．慶應保健研究，22(1)：79 -85，2004

4) 安藤美穂，広瀬寛，他：理工学部(矢上キャンパス)における応急処置の現況．慶應保健研究，22(1)：93 -98，2004

5) 肥後綾子，広瀬寛，他：メタボリック・シンドローム患者の栄養摂取状況と，摂取脂肪酸組成，血清脂肪酸組成の關係．慶應保健研究，22(1)：105 -111，2004

6) 小田原雅人，広瀬寛，他：座談会：糖尿病治療におけるピオグリタゾンの位置付けを考える．Diabetes Frontier , 15(3) : 391 -397 , 2004

7) Yokoyama H, Hirose H, et al : Associations among lifestyle status, serum adiponectin level and insulin resistance . Intern Med , 43(6) : 453 -457 , 2004

8) Ogawa T, Hirose H, et al : Relationships between serum soluble leptin receptor level and serum leptin and adiponectin levels, insulin resistance index, lipid profile and LEPR gene polymorphisms in Japanese population . Metabolism , 53(7) : 879 -885 , 2004

9) Yokoyama H, Hirose H, et al : Inverse association between serum adiponectin level and transaminase activities in Japanese male workers . J Hepatol , 41(1) : 19 -24 , 2004

10) Yajima K, Hirose H, et al : "Low dose" metformin improves hyperglycemia better than acarbose in type 2 diabetes . Rev Diab Stud , 1(2) : 89 -94 , 2004

11) Yokoyama H, Hirose H, et al : Associations between serum leptin levels and transaminase activities and the status of lifestyle in Japanese workers . Alcohol Clin Exp Res , 28(8) : 159S -162S , 2004

12) Ogawa T, Hirose H, et al : GPR40 gene Arg211His polymorphism may contribute to the variation of insulin secretory capacity in Japanese men . Metabolism , 54(3) : 296 -299 , 2005

13) Morii T, Hirose H, et al : Cellular insulin resistance in Epstein-Barr virus-transformed lymphoblasts from young insulin-resistant Japanese men . Metabolism , 54(3) : 370 -375 , 2005

#### 柴田 洋孝

1) Shibata H, et al : COUP-TF and transcriptional co-regulators in adrenal steroidogenesis. Endocrine Research , 30 : 795 -801 , 2004

2) Yokota K, Shibata H, et al : Proteasome-mediated mineralocorticoid receptor degradation attenuates transcriptional response to aldosterone . Endocrine Research , 30 : 611 -616 , 2004

3) Kobayashi S, Shibata H, et al : FHL2, Ubc9 and PIAS1 are novel estrogen receptor-interacting proteins. Endocrine Research , 30 : 617 -621 , 2004

4) 柴田洋孝，他：すべての高血圧患者に二次性高血圧の鑑別精査をすべきか？．Medicina , 41 (1) : 127 -128 , 2004

5) 柴田洋孝，他：COUP-TF and novel transcriptional coregulators in adrenal cortical steroidogenesis . ホルモンと臨床 , 52 (増刊) : 150 -157 , 2004

6) 柴田洋孝，他：微小腺腫によるアルドステロン症と特発性アルドステロン症の鑑別診断．ホルモンと臨床 , 52 : 39 -47 , 2004

7) 栗原勲，柴田洋孝，他：コルチゾールおよびデオキシコルチコステロンの過剰産生を認めたACTH非依存性大結節性過形成によるクッシング症候群の一例．ホルモンと臨床 , 52(増刊) : 122 -134 , 2004

8) 柴田洋孝，他：アルドステロン合成酵素遺伝子の転写調節．ホルモンと臨床 , 52 : 15 -24 , 2004

9) 柴田洋孝：副腎皮質腫瘍におけるホルモン産生異常と情報伝達系．内分泌・糖尿病科 , 18(2) : 112 -119 , 2004

10) 柴田洋孝，他：原発性アルドステロン症診断のクリニカルパスとACTH負荷副腎静脈サンプリ

ングの意義 . 東京女子医科大学雑誌 , 74(9 -10) : 591 -595 , 2004

11) 柴田洋孝 , 他 : アルドステロン症における血漿アルドステロン/活性レニン濃度比 . 第 14 回臨床内分泌代謝 Update Proceedings , 80(Suppl) : 35 -38 , 2004

12) 須田徳子 , 柴田洋孝 , 他 : アルドステロン分泌過剰を認めたクッシング症候群の一例 . 第 14 回臨床内分泌代謝 Update Proceedings , 80(Suppl) : 44 -48 , 2004

13) 柴田洋孝 : 副腎皮質性高血圧におけるステロイド合成異常 ( 生化学的見地から ) . 最新医学 , 59(10) : 50 -57 , 2004

14) 柴田洋孝 , 他 : 女子高校生における骨密度と生活習慣の検討 ( 第二報 ) . 慶應保健研究 , 22(1) : 35 -40 , 2004

15) 高山昌子 , 柴田洋孝 , 他 : 高校 3 年生男子の生活習慣調査の結果 . 慶應保健研究 , 22(1) : 71 -78 , 2004

16) 藤井香 , 柴田洋孝 , 他 : 病院職員の腸管感染症発生状況と感染予防策についての検討 . 慶應保健研究 , 22(1) : 79 -86 , 2004

17) 柴田洋孝 , 他 : アルドステロン産生における COUP -TF および SF -1/Ad4BP の機能解析 . 厚生労働省科学研究費補助金副腎ホルモン産生異常に関する研究班 , 平成 15 年度研究報告書 : 35 -42 , 2004

18) Kurihara I, Shibata H, et al : Ubc9 and PIAS1 activate COUP -TFI mediated human CYP11B2 gene transcription . Journal of Biological Chemistry , 280 : 6721 - 6730 , 2005

19) Neumann HPH, Shibata H, et al : Current Concepts : New genetic causes of pheochromocytoma and the clinical relevance . Keio Journal of Medicine , 2005

森木 隆典

1) Ishii K, Moriki T, et al : Genetic analyses and expression studies identified a novel mutation (W486C) as a molecular basis of congenital factor XII deficiency . Blood Coagulation & Fibrinolysis , 15(5) : 367 -373 , 2004

2) 横山裕一 , 森木隆典 , 他 : 慶應義塾大学病院医療従事者における院内感染症対策への考察 . 慶應保健研究 , 22(1) : 127 -135 , 2004

3) 藤井香 , 森木隆典 , 他 : 病院職員の腸管感染症発生状況と感染予防策についての検討 . 慶應保健研究 , 22(1) : 79 -85 , 2004

4) Isshiki I, Moriki T, et al : Genetic analysis of hereditary factor X deficiency in a French patient of Sri Lankan ancestry: in vitro expression study identified Gly366Ser substitution as the molecular basis of the dysfunctional factor X . Blood Coagulation &

Fibrinolysis , 16(1) : 9 -16 , 2005

5) Oguchi S, Moriki T, et al : Factor XII Shizuoka, a novel mutation (Ala392Thr) identified and characterized in a patient with congenital coagulation factor XII deficiency . Thrombosis Research , 115(3) : 191 -197 , 2005

西村 由貴

1) 西村由貴 , 他 : Schizophrenia の日本語呼称の変更と医師の病名告知 . 慶應保健研究 , 22(1) : 41 -44 , 2004

田中 徹哉

1) 田中徹哉 , 他 : 思春期やせ症早期発見の試み : 研究モデル校における実践 思春期やせ症の実態把握及び対策に関する研究 . 平成 15 年度厚生労働科学研究 ( 子ども家庭総合研究事業 ) 報告書 , : 523 -526 , 2004

2) 田中徹哉 , 他 : 思春期やせ症早期発見の試み : 6 校での試み 思春期やせ症の実態把握及び対策に関する研究分担研究報告書 . 平成 15 年度厚生労働科学研究 ( 子ども家庭総合研究事業 ) 報告書 , : 527 -529 , 2004

3) 渡辺久子 , 田中徹哉 , 他 : 思春期やせ症の実態把握及び対策に関する研究 総括研究報告書 . 平成 15 年度厚生労働科学研究 ( 子ども家庭総合研究事業 ) 報告書 , : 519 -522 , 2004

4) 田中徹哉 , 他 : 学校における神経性食欲不振症早期発見の試み . 慶應保健研究 , 22(1) : 55 -59 , 2004

5) 徳村光昭 , 田中徹哉 , 他 : 神経性食欲不振症患者の学校生活管理 . 慶應保健研究 , 22(1) : 51 -54 , 2004

6) 南里清一郎 , 田中徹哉 , 他 : 小児肥満予防のための食生活指導 . 慶應保健研究 , 22(1) : 1 -7 , 2004

7) 木村慶子 , 田中徹哉 , 他 : インフルエンザの罹患調査 : インフルエンザワクチンの有効性 . 慶應保健研究 , 22(1) : 45 -49 , 2004

8) 武田純枝 , 田中徹哉 , 他 : 女子中学 3 年生の食事調査 : 3 日間記録法と頻度法の比較 . 慶應保健研究 , 22(1) : 61 -69 , 2004

9) 南里清一郎 , 田中徹哉 : やせと食事 . 小児科臨床 , 57(12) : 2575 -2582 , 2004

藤田 尚代

1) Hisayo Fujita, et al : ERK and p38 mediate high -glucose -induced hypertrophy and TGF -beta expression in renal tubular cells. Am J Physiol Renal Physiol , 286(1) : , 2004

2) Hisayo Fujita, et al : Genitourinary anomaly in congenital varicella syndrome: case

report and review. *Pediatr Nephrol.*, 19(5) : 554-7, 2004

3) 南里清一郎, 藤田尚代, 他: 小児肥満予防のための食生活指導. *慶應保健研究*, 22(1) : 1-7, 2004

4) 木村慶子, 藤田尚代, 他: インフルエンザの罹患調査: インフルエンザワクチンの有効性. *慶應保健研究*, 22(1) : 45-49, 2004

5) 徳村光昭, 藤田尚代, 他: 神経性食欲不振症患者の学校生活管理. *慶應保健研究*, 22(1) : 51-54, 2004

6) 田中徹哉, 藤田尚代, 他: 学校における神経性食欲不振症早期発見の試み. *慶應保健研究*, 22(1) : 55-59, 2004

7) 武田純枝, 藤田尚代, 他: 女子中学3年生の食事調査: 3日間記録法と頻度法の比較. *慶應保健研究*, 22(1) : 61-69, 2004

井ノ口 美香子

1) Kojima K, Inokuchi M, et al : Genetic testing of glycogen storage disease type b in Japan : five novel G6PT1 mutations and a rapid detection method for a prevalent mutation W118R. *Mol Genet Metab*, 81 : 343-346, 2004

2) Tamame T, Inokuchi M, et al : Hyperinsulinemic hypoglycemia in a newborn infant with trisomy 13. *Am J Med Genet*, 129A : 321-322, 2004

武田 純枝

1) 武田純枝, 他: 女子中学3年生の食事調査: 3日間記録法と頻度法の比較. *慶應保健研究*, 22(1) : 61-69, 2004

2) 南里清一郎, 武田純枝, 他: 小児肥満予防のための食生活指導. *慶應保健研究*, 22(1) : 1-7, 2004

3) 肥後綾子, 武田純枝, 他: メタボリック・シンドローム患者の栄養摂取状況と, 摂取脂肪酸組成, 血清脂肪酸組成の関係. *慶應保健研究*, 22(1) : 105-111, 2004

荒井 綾子

1) 辻岡三南子, 荒井綾子, 他: 女子高校生における甲状腺検診の意義. *慶應保健研究*, 22(1) : 19-22, 2004

2) 木村慶子, 荒井綾子, 他: インフルエンザの罹患調査: インフルエンザワクチンの有効性. *慶應保健研究*, 22(1) : 45-49, 2004

小野 恵子

1) 辻岡三南子, 小野恵子, 他: 女子高校生における甲状腺検診の意義. *慶應保健研究*, 22(1) : 19-22, 2004

2) 佐藤幸美子, 小野恵子, 他: 湘南藤沢キャンパス(SFC)における保健管理センターの認知度および健康意識調査. *慶應保健研究*, 22(1) : 87-91, 2004

田中 由紀子

1) 松本可愛, 田中由紀子, 他: 女子大学生の月経痛とライフスタイル, 対処能力に関する調査. *慶應保健研究*, 22(1) : 99-104, 2004

高山 昌子

1) 高山昌子, 他: 高校3年生男子の生活習慣調査の結果. *慶應保健研究*, 22(1) : 71-78, 2004

藤井 香

1) 藤井香, 他: 病院職員の腸管感染症発生状況と感染予防対策についての検討. *慶應保健研究*, 22(1) : 79-85, 2004

2) 藤井香, 他: 大学病院における特定業務従事者の健診システムとその運用. 第5回看護情報研究会論文集 : 31-34, 2004

3) 藤井香, 他: キャンパス内分煙化に伴う学生, 教職員の喫煙行動の変化. *学校保健研究*, 46 : 546-547, 2004

4) 肥後綾子, 藤井香, 他: メタボリック・シンドローム患者の栄養摂取状況と, 摂取脂肪酸組成, 血清脂肪酸組成の関係. *慶應保健研究*, 22(1) : 105-111, 2004

5) 安藤美穂, 藤井香, 他: 理工学部(矢上キャンパス)における応急処置の現状. *慶應保健研究*, 22(1) : 93-98, 2004

6) 森正明, 藤井香, 他: 慶應義塾の医療関係者に対する結核対策の改訂 - 定期外結核健康診断受診票と管理力 - による自己管理の強化 -. *慶應保健研究*, 22(1) : 113-125, 2004

7) 横山裕一, 藤井香, 他: 慶應義塾大学病院医療従事者における院内感染対策への考察. *慶應保健研究*, 22(1) : 127-135, 2004

佐藤 幸美子

1) 佐藤幸美子, 他: 湘南藤沢キャンパス(SFC)における保健管理センターの認知度および健康意識調査. *慶應保健研究*, 22(1) : 87-91, 2004

玄葉 道子

1) 辻岡三南子, 玄場道子, 他: 女子高校生における甲状腺検診の意義. *慶應保健研究*, 22(1) : 19-

22, 2004

2) 柴田洋孝, 玄場道子, 他: 女子高校生における骨密度と生活習慣の検討(第二報). 慶應保健研究, 22(1): 35-40, 2004

安藤 美穂

1) 安藤美穂, 他: 理工学部(矢上キャンパス)における応急処置の現況. 慶應保健研究, 22(1): 93-98, 2004

齋藤 圭美

1) 松本可愛, 齋藤圭美, 他: 女子大学生の月経痛とライフスタイル, 対処能力に関する調査. 慶應保健研究, 22(1): 99-104, 2004

石井 敬子

1) 南里清一郎, 石井敬子, 他: 小児肥満予防のための食生活指導. 慶應保健研究, 22(1): 1-7, 2004

2) 田中徹哉, 石井敬子, 他: 学校における神経性食欲不振症早期発見の試み. 慶應保健研究, 22(1): 55-59, 2004

3) 武田純枝, 石井敬子, 他: 女子中学3年生の食事調査: 3日間記録法と頻度法の比較. 慶應保健研究, 22(1): 61-69, 2004

松本 可愛

1) 松本可愛, 他: 女子大学生の月経痛とライフスタイル, 対処能力に関する調査. 慶應保健研究, 22(1): 99-104, 2004

肥後 綾子

1) 肥後綾子, 他: メタボリック・シンドローム患者の栄養摂取状況と, 摂取脂肪酸組成, 血清脂肪酸組成の関係. 慶應保健研究, 22(1): 105-111, 2004

2) 松本可愛, 肥後綾子, 他: 女子大学生の月経痛とライフスタイル, 対処能力に関する調査. 慶應保健研究, 22(1): 99-104, 2004

3) 藤井香, 肥後綾子, 他: 病院職員の腸管感染症発生状況と感染予防対策についての検討. 慶應保健研究, 22(1): 79-85, 2004

4) 森正明, 肥後綾子, 他: 慶應義塾の医療関係者に対する結核対策の改訂- 定期外結核健康診断受診票と管理カードによる自己管理の強化-. 慶應保健研究, 22(1): 113-125, 2004

5) 横山裕一, 肥後綾子, 他: 慶應義塾大学病院医療従事者における院内感染対策への考察. 慶應保健研究, 22(1): 127-135, 2004

戸田 寛子

1) 松本可愛, 戸田寛子, 他: 女子大学生の月経痛とライフスタイル, 対処能力に関する調査. 慶應保健研究, 22(1): 99-104, 2004

山岸 あや

1) 藤井香, 山岸あや, 他: 病院職員の腸管感染症発生状況と感染予防対策についての検討. 慶應保健研究, 22(1): 79-85, 2004

### 3) 学 会 発 表

齊藤 郁夫

1) Saito I, et al: VALUE, ONTARGET and CADUET Asia Pacific All board meeting 2004

2) Saito I, et al: Management of hypertension for Asian population; The role of the new generation ACE inhibitor 15th Asean Congress of Cardiology 2004

3) 齊藤郁夫, 他: 白衣高血圧の把握と臨床的意義 2004 高血圧治療フォーラム 2004

4) 齊藤郁夫, 他: 高血圧治療ガイドライン 2000年版(JSH2000)の普及度と軽症高血圧の治療実態に関する研究 第27回日本高血圧学会 2004

5) 齊藤郁夫, 他: 2004年高血圧治療ガイドライン, 降圧薬治療 第27回日本高血圧学会 2004

6) 齊藤郁夫, 他: 専門家意見による理想的高血圧治療の費用構造に関する研究 第27回日本高血圧学会 2004

7) 齊藤郁夫, 他: 高血圧患者における高感度CRP測定の有効性の検討 第27回日本高血圧学会 2004

8) 齊藤郁夫, 他: 本態性高血圧患者に対する降圧薬併用療法の薬剤経済分析 第27回日本高血圧学会 2004

9) 河邊博史, 齊藤郁夫, 他: 一機会の測定回数に伴う血圧変化の再現性と逆白衣高血圧の頻度と再現性-6ヶ月間隔で実施した家庭血圧測定による検討 第27回日本高血圧学会 2004

10) 江口高, 齊藤郁夫, 他: 日本人のインスリン抵抗性に関連する高血圧とTNF receptor2遺伝子intron4のmicrosatellite多型との関連 第27回日本高血圧学会 2004

11) 江口高, 齊藤郁夫, 他: 高血圧素因とTNF-2遺伝子多型との関連 第27回日本高血圧学会 2004

12) 藤井香, 齊藤郁夫, 他: キャンパス内分煙化に伴う学生, 教職員の喫煙行動の変化 第51回日本学校保健学会 2004

13) 山本洋美, 齊藤郁夫, 他: 大学で発生した結核集団感染事例の報告 第51回日本学校保健学会



2004

- 14) 肥後綾子, 齊藤郁夫, 他: 大学教職員を対象としたメタボリックシンドローム予防プログラムの評価 第51回日本学校保健学会 2004
- 15) 高山昌子, 齊藤郁夫, 他: 高等学校におけるインフルエンザ予防活動 第51回日本学校保健学会 2004
- 16) 安藤美穂, 齊藤郁夫, 他: 結核接触者検診-QFT 検査が予防内服に関する意思決定に与える影響 - 第42回全国大学保健管理研究集会 2004
- 17) 藤井香, 齊藤郁夫, 他: キャンパス内分煙化に伴う学生, 教職員の喫煙行動の変化 第42回全国大学保健管理研究集会 2004
- 18) 肥後綾子, 齊藤郁夫, 他: 大学教職員を対象としたメタボリックシンドローム予防プログラムの評価 第42回全国大学保健管理研究集会 2004
- 19) Kawabe H, Saito I, et al: Control status of home blood pressure measured in morning and evening - evaluation in Japanese normotensives and treated hypertensive 14th European Meeting on Hypertension 2004
- 20) 河邊博史, 齊藤郁夫, 他: 飲酒の有無が家庭血圧値, 心拍数に及ぼす影響 第6回時間循環高血圧研究会 2004
- 21) 藤井 香, 齊藤郁夫, 他: 大学病院における特定業務従事者の健康診断システムとその運用 第5回看護情報研究会 2004
- 22) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: アルドステロン症における血漿アルドステロン/活性レニン濃度比 第14回臨床内分泌代謝 Update 2004
- 23) 須田徳子, 齊藤郁夫, 他: アルドステロン分泌過剰を認めたクッシング症候群の一例 第14回臨床内分泌代謝 Update 2004
- 24) 高山昌子, 齊藤郁夫, 他: 高等学校におけるインフルエンザ予防活動 第63回日本公衆衛生学会総会 2004
- 25) 横山裕一, 齊藤郁夫, 他: 飲酒とインスリン抵抗性 第39回日本アルコ-ル薬物学会 2004
- 26) 横山裕一, 齊藤郁夫, 他: 飲酒によるインスリン抵抗性減少効果はインスリン抵抗性が正常である場合に発揮される 第24回アルコ-ル医学生物学会議 2004
- 27) 辻岡三南子, 齊藤郁夫, 他: 女子高校生における甲状腺検診の意義 - 頸部触診と抗甲状腺抗体検査による検診と甲状腺疾患の頻度 - 第101回日本内科学会 2004
- 28) 須田徳子, 齊藤郁夫, 他: アルドステロンとコルチゾ-ルの分泌過剰を認めた副腎腫瘍の検討 第101回日本内科学会 2004
- 29) 中谷比呂志, 齊藤郁夫, 他: インスリン抵抗性と高血圧, 糖尿病 健常日本人における縦断的検討 第47回日本糖尿病学会 2004
- 30) 山本幸宏, 齊藤郁夫, 他: アディポネクチンは将来のインスリン抵抗性を規定する 第47回日本糖尿病学会 2004

- 31) 小川健夫, 齊藤郁夫, 他: 血中可溶性レプチン受容体濃度とBMI, 糖・脂質代謝指標, 血中レプチン及びアディポネクチン濃度との関連 第47回日本糖尿病学会 2004
- 32) Ogawa T, Saito I, et al: Relationships between serum soluble leptin receptor level and serum leptin and adiponectin levels, insulin resistance index, lipid profile and LEPR gene polymorphisms in Japanese population 第64回米国糖尿病学会 2004
- 33) Kobayashi S, Saito I, et al: Ubc9 and PIAS1 are novel regulators of estrogen receptor  $\alpha$  XIth Conference on the Adrenal Cortex 2004
- 34) Yokota K, Saito I, et al: Proteasome-mediated degradation and its transcriptional regulation of the human mineralocorticoid receptor XIth Conference on the Adrenal Cortex 2004
- 35) Suda N, Saito I, et al: Ubc9 and PIAS1 regulate adrenal cortisol production mediated by SF-1 in human adrenocortical H295R cells and cortisol-producing adenomas The Endocrine Society's 86th Annual Meeting 2004
- 36) 須田徳子, 齊藤郁夫, 他: ステロイド産生におけるUbc9およびPIAS1の機能解析と副腎皮質腫瘍における役割 第77回日本内分泌学会総会 2004
- 37) 横田健一, 齊藤郁夫, 他: リガンド依存性にミネラルコルチコイド受容体の転写活性を増強する新規coactivatorの機能解析 第77回日本内分泌学会総会 2004
- 38) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: 核内受容体によるステロイドホルモン産生および作用調節: 転写共役因子の重要性 第77回日本内分泌学会総会 2004
- 39) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: 副腎皮質ステロイド産生における核内受容体・転写共役因子複合体の機能解析 第2回 Young Endocrinologist Conference 2004
- 40) Shibata H, Saito I, et al: Adrenal nuclear receptors and co-regulators International Congress of Endocrinology 2004
- 41) 横田健一, 齊藤郁夫, 他: 男性化を主症状とし, 子宮嚢胞状腫瘍, 下垂体卒中を合併したアンドロゲン産生副腎腫瘍の一例 第49回臨床内分泌代謝研究会 2004
- 42) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: Ubc9によるミネラルコルチコイド受容体(MR)の転写制御機構 第27回日本分子生物学会年会 2004
- 43) 須田徳子, 齊藤郁夫, 他: 副腎偶発腫瘍症例の臨床的検討 第15回臨床内分泌代謝 Update 2005
- 44) 村井彩乃, 齊藤郁夫, 他: 原発性アルドステロン症における確定診断法の検討 第15回臨床内分泌代謝 Update 2005

- 45) 須田徳子, 齊藤郁夫, 他: 副腎偶発腫瘍症例の臨床的検討 第15回臨床内分泌代謝 Update 2005
- 46) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: 副腎ステロイド産生におけるSF-1およびUbc9, PIAS1の役割 厚生労働省科学研究費補助金 副腎ホルモン産生異常に関する研究班 平成16年度研究報告会 2005
- 47) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: 核内受容体COUP-TFIによるアルドステロン産生調節機構に関する研究 第5回東京アルドステロンフォーラム 2005
- 48) 柴田洋孝, 齊藤郁夫, 他: SUMO化酵素Ubc9, PIAS1による核内受容体の作用調節 第4回ステロイドホルモンを考える会 2005

南里 清一郎

- 1) 徳村光昭, 南里清一郎, 他: 中学1年生における朝食欠食と小児肥満の関係(富山出生コホート研究の縦断的資料による検討: 第2報) 第31回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004
- 2) 井ノ口美香子, 南里清一郎, 他: 食事調査における休日調査の意義 - 都市部女子中学生における検討 - 第31回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004
- 3) 武田純枝, 南里清一郎, 他: 女子中学生の食事調査 - 3日間記録法と頻度法の比較(2報) 第31回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004
- 4) 井ノ口美香子, 南里清一郎, 他: 血清総コレステロール値の追跡調査(6歳から19歳)および体格, 生活習慣との関係 第18回日本小児脂質研究会 2004
- 5) 徳村光昭, 南里清一郎, 他: 「やせ」および「脈拍数」を指標とした神経性食欲不振症のスクリーニング 第51回日本学校保健学会 2004
- 6) 藤井香, 南里清一郎, 他: キャンパス内分煙化に伴う学生, 教職員の喫煙行動の変化 第51回日本学校保健学会 2004

河邊 博史

- 1) 河邊博史: ストレスと高血圧 第11回慶應医師会・市民公開講座 2004
- 2) 辻岡三南子, 河邊博史, 他: 女子高校生における甲状腺検診の意義 - 頸部触診と抗甲状腺抗体検査による検診と甲状腺疾患の頻度 - 第101回日本内科学会総会 2004
- 3) Kawabe H, et al: Control status of home blood pressure measured in morning and evening - evaluation in Japanese normotensives and treated hypertensives 14th European Meeting on Hypertension 2004
- 4) 河邊博史, 他: 飲酒の有無が家庭血圧値, 心拍数に及ぼす影響 第6回時間循環高血圧研究会 2004
- 5) 肥後綾子, 河邊博史, 他: 大学教職員を対象

- としたメタボリックシンドローム予防プログラムの評価 第42回全国大学保健管理研究集会 2004
- 6) 河邊博史, 他: 一機会の測定回数に伴う血圧変化の再現性と逆白衣高血圧の頻度と再現性 - 6ヶ月間隔で実施した家庭血圧測定による検討 第27回日本高血圧学会 2004
- 7) 江口高, 河邊博史, 他: 日本人のインスリン抵抗性に関連する高血圧とTNF receptor2遺伝子intron4のmicrosatellite多型との関連 第27回日本高血圧学会 2004
- 8) 須田徳子, 河邊博史, 他: 副腎偶発腫瘍症例の臨床的検討 第15回臨床内分泌代謝 Update 2005
- 9) 河邊博史: 高血圧治療ガイドライン2004で何が変わったか - 厳格な降圧の重要性 - 川崎市内科医会学術講演会 2005

大野 裕

- 1) 大野裕: シンポジウム「外来における神経症性障害および身体表現性障害の現状と対策」 日本外来臨床精神医学会・日本外来精神医療学会 2004
- 2) 西村由貴, 大野裕, 他: 「精神分裂病」と「統合失調症」の一般人のイメージ比較: 学生と成人, およびメディア介入の効果について 第100回日本精神神経学会 2004
- 3) 宗未来, 大野裕, 他: 神経性食思不振症(AN)のcomorbidity調査 第100回日本精神神経学会 2004
- 4) 射場麻帆, 大野裕, 他: 統合失調症・心理社会的治療(1) 第100回日本精神神経学会 2004
- 5) 大野裕, 他: うつと不安の認知療法 第100回日本精神神経学会 2004
- 6) 田中江里子, 大野裕, 他: 高齢者の抑うつ・自殺の予防に関する研究 - 地域在宅高齢者におけるスクリーニング実施の結果 - 第68回日本心理学会 2004

辻岡 三南子

- 1) 辻岡三南子, 他: 女子高校生における甲状腺検診の意義 - 頸部触診と抗甲状腺抗体検査による検診と甲状腺疾患の頻度 - 第101回日本内科学会 2004
- 2) 高山昌子, 辻岡三南子, 他: 高等学校におけるインフルエンザ予防活動 第51回日本学校保健学会 2004

和井内由充子

- 1) 辻岡三南子, 和井内由充子, 他: 女子高校生における甲状腺検診の意義 - 頸部触診と抗甲状腺抗体検査による検診と甲状腺疾患の頻度 -

第 101 回日本内科学会 2004

徳村 光昭

- 1) 徳村光昭,他:中学1年生における朝食欠食と小児肥満の関係(富山出生コホ-ト研究の縦断的資料による検討:第2報) 第31回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004
- 2) 徳村光昭,他:「やせ」および「脈拍数」を指標とした神経性食欲不振症のスクリーニング 第51回日本学校保健学会 2004
- 3) 徳村光昭:小児科診療に関連したスポ-ツ医学 スポ-ツ参加のための小児用診断書,小児の運動負荷試験 第3回両毛小児医療懇話会 2005
- 4) 福島裕之,徳村光昭,他:神経性食欲不振症における自律神経機能(第4報) 再発例における検討および総括 第107回日本小児科学会学術集会 2004
- 5) 渡辺久子,徳村光昭,他:神経性食欲不振症の有効な治療のための病院-家族-学校の連携について 第107回日本小児科学会学術集会 2004
- 6) 田中徹哉,徳村光昭,他:神経性食欲不振症予防,早期発見の試み 第107回日本小児科学会学術集会 2004
- 7) 井ノ口美香子,徳村光昭,他:食事調査における休日調査の意義:都市部中学生における検討 第31回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004
- 8) 武田純枝,徳村光昭,他:女子中学生の食事調査:3日間記録法と頻度法の比較(第2報) 第31回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004
- 9) 井ノ口美香子,徳村光昭,他:19歳時における血清総コレステロール値について 6歳時からの縦断的検討,体格および生活習慣との関係の検討 第18回小児脂質研究会 2004
- 10) 田中徹哉,徳村光昭,他:小児科医による神経性食欲不振症の予防と早期発見 第51回日本小児保健学会 2004

森 正明

- 1) 山本洋美,森正明,他:大学で発生した結核集団感染事例の報告 第63回日本公衆衛生学会総会 2004
- 2) 肥後綾子,森正明,他:大学教職員を対象としたメタボリックシンドロ-ム予防プログラムの評価 第42回全国大学保健管理研究集会 2004
- 3) 安藤美穂,森正明,他:結核接触者検診-QFT検査が予防内服に関する意思決定に与える影響- 第42回全国大学保健管理研究集会 2004
- 4) 藤井香,森正明,他:キャンパス内分煙に伴う学生,教職員の喫煙行動の変化 第51回日本学校保健学会 2004
- 5) 高山昌子,森正明,他:高等学校におけるインフルエンザ予防活動 第51回日本学校保健学

会 2004

- 6) 辻岡三南子,森正明,他:女子高校生における甲状腺検診の意義-頸部触診と抗甲状腺抗体検査による検診と甲状腺疾患の頻度- 第101回日本内科学会総会 2004

横山 裕一

- 1) 横山裕一,他:飲酒とインスリン抵抗性 第39回日本アルコ-ル薬物学会 2004
- 2) 横山裕一,他:飲酒によるインスリン抵抗性減少効果はインスリン抵抗性が正常である場合に発揮される 第24回アルコ-ル医学生物学会議 2004
- 3) 辻岡三南子,横山裕一,他:女子高校生における甲状腺検診の意義-頸部触診と抗甲状腺抗体検査による検診と甲状腺疾患の頻度- 第101回日本内科学会総会 2004
- 4) 肥後綾子,横山裕一,他:大学教職員を対象としたメタボリックシンドロ-ム予防プログラムの評価 第51回日本学校保健学会 2004
- 5) 藤井香,横山裕一,他:キャンパス内分煙に伴う学生,教職員の喫煙行動の変化 第42回全国大学保健管理研究集会 2004

広瀬 寛

- 1) 辻岡三南子,広瀬寛,他:女子高校生における甲状腺検診の意義-頸部触診と抗甲状腺抗体検査による検診と甲状腺疾患の頻度- 第101回日本内科学会 2004
- 2) 中谷比呂志,広瀬寛,他:インスリン抵抗性と高血圧,糖尿病-健常日本人における縦断的検討 第47回日本糖尿病学会 2004
- 3) 矢島賢,広瀬寛,他:グルコ-ス刺激性インスリン分泌におけるPPAR $\alpha$ , $\beta$  アゴニストの影響 第47回日本糖尿病学会 2004
- 4) 丸山太郎,広瀬寛,他:1型糖尿病の成因における酸化ストレス関連遺伝子NADPH オキシゲナーゼp22phox C242TならびにRAGE G1704T多型の関与 第47回日本糖尿病学会 2004
- 5) 松永聖子,広瀬寛,他:糖尿病性大血管障害の成因におけるRAGE 遺伝子G1704T多型の関与 第47回日本糖尿病学会 2004
- 6) 山本幸宏,広瀬寛,他:アディポネクチンは将来のインスリン抵抗性を規定する 第47回日本糖尿病学会 2004
- 7) 今村佳代子,広瀬寛,他:非糖尿病成人男性における食後アディポネクチン濃度の変化 第47回日本糖尿病学会 2004
- 8) 税所芳史,広瀬寛,他:2型糖尿病患者における過酸化脂質と頸動脈内中膜肥厚(IMT)との関連についての検討 第47回日本糖尿病学会 2004
- 9) 小川健夫,広瀬寛,他:血中可溶性レプチン受容体濃度とBMI,糖・脂質代謝指標,血中レプ

チン及びアディポネクチン濃度との関連 第 47 回日本糖尿病学会 2004

10) 田畑光久, 広瀬寛, 他: 高血圧合併 2 型糖尿病患者に対するアンジオテンシン II 受容体拮抗薬と持続型カルシウム拮抗剤との併用効果の検討 第 47 回日本糖尿病学会 2004

11) 広瀬寛: 脂質代謝とアディポネクチン 第 5 回 Multiple Risk Factor Forum 2004

12) 平尾圭市, 広瀬寛, 他: 抗酸化 LDL 抗体の糖尿病性腎症への関与 第 26 回日本腎臓学会 2004

13) Saisho Y, Hirose H, et al: Serum lipid peroxide, but not C-reactive protein, has a positive correlation with max and mean intima-media thickness (IMT) in Japanese type 2 diabetic patients 第 64 回米国糖尿病学会 2004

14) Ogawa T, Hirose H, et al: Relationships between serum soluble leptin receptor level and serum leptin and adiponectin levels, insulin resistance index, lipid profile and LEPR gene polymorphisms in Japanese population 第 64 回米国糖尿病学会 2004

15) 広瀬寛, 他: 臍細胞における脂肪蓄積およびチアゾリジン誘導体による体内脂肪の変化の検討 第 77 回日本内分泌学会 2004

16) 丸山達也, 広瀬寛, 他: 糖尿病性腎症における抗酸化 LDL 抗体の関与とエストロゲンおよびレプチンの効果 第 77 回日本内分泌学会 2004

17) 広瀬寛, 他: 2 型糖尿病患者における各種動脈硬化・酸化ストレスマ - カ - と頸動脈内中膜肥厚 (IMT) との関連についての検討 第 36 回日本動脈硬化学会 2004

18) 広瀬寛, 他: Lipotoxicity やアディポサイトカインの意義 および PPAR  $\alpha$  の効果の検討 第 36 回日本動脈硬化学会 2004

19) 今村佳代子, 広瀬寛, 他: 非肥満, 非糖尿病成人男性における食後アディポネクチン濃度, レプチン濃度の変化 第 36 回日本動脈硬化学会 2004

20) 広瀬寛: 生活習慣病に直結した代謝マ - カ - : アディポサイトカインの臨床的意義 第 51 回日本臨床検査医学会総会 2004

21) 肥後綾子, 広瀬寛, 他: 大学教職員を対象としたメタボリックシンドローム予防プログラムの評価 第 42 回全国大学保健管理研究集会 2004

22) 安藤美穂, 広瀬寛, 他: 結核接触者検診 - QFT 検査が予防内服に関する意思決定に与える影響 - 第 42 回全国大学保健管理研究集会 2004

23) 平尾圭市, 広瀬寛, 他: 糖尿病患者における高血圧と抗酸化 LDL 抗体の関連 第 27 回日本高血圧学会 2004

24) 江口高, 広瀬寛, 他: 高血圧素因と TNF  $\alpha$  2 遺伝子多型との関連 第 27 回日本高血圧学会 2004

25) 広瀬寛: インスリン抵抗性やアディポサイトカインと高血圧, 糖尿病 第 5 回インスリン抵抗性フォーラム 2004

柴田 洋孝

1) 柴田洋孝, 他: アルドステロン症における血漿アルドステロン/活性レニン濃度比 第 14 回臨床内分泌代謝 Update 2004

2) 須田徳子, 柴田洋孝, 他: アルドステロン分泌過剰を認めたクッシング症候群の一例 第 14 回臨床内分泌代謝 Update 2004

3) 須田徳子, 柴田洋孝, 他: アルドステロンとコルチゾールの分泌過剰を認めた副腎腫瘍の検討 第 101 回日本内科学会講演会 2004

4) 柴田洋孝: 副腎偶発腫瘍の診断, 病因と治療 第 16 回日本内分泌外科学会 2004

5) Shibata H: COUP-TF and transcriptional co-regulators in adrenal steroidogenesis XIth Conference on the Adrenal Cortex 2004

6) Kobayashi S, Shibata H, et al: Ubc9 and PIAS1 are novel regulators of estrogen receptor XIth Conference on the Adrenal Cortex 2004

7) Yokota K, Shibata H, et al: Proteasome-mediated degradation and its transcriptional regulation of the human mineralocorticoid receptor XIth Conference on the Adrenal Cortex 2004

8) Suda N, Shibata H, et al: Ubc9 and PIAS1 regulate adrenal cortisol production mediated by SF-1 in human adrenocortical H295R cells and cortisol-producing adenomas The Endocrine Society's 86th Annual Meeting 2004

9) 須田徳子, 柴田洋孝, 他: ステロイド産生における Ubc9 および PIAS1 の機能解析と副腎皮質腺腫における役割 第 77 回日本内分泌学会総会 2004

10) 横田健一, 柴田洋孝, 他: リガンド依存性にミネラルコルチコイド受容体の転写活性を増強する新規 coactivator の機能解析 第 77 回日本内分泌学会総会 2004

11) 佐藤敦久, 柴田洋孝, 他: 抗アルドステロン薬による早期の抗蛋白尿作用は血圧値, 炎症反応, コルチゾン合成には依存しない 第 77 回日本内分泌学会総会 2004

12) 成瀬光栄, 柴田洋孝, 他: Preclinical Cushing 症候群 (PreCS) の診断基準に関する多施設共同研究: デキサメサゾン (Dex) 抑制試験の判定基準に関する検討 第 77 回日本内分泌学会総会 2004

13) 柴田洋孝: 副腎皮質および副腎皮質腺腫におけるステロイド産生機構: 核内受容体および転写共役因子からの検討 第 77 回日本内分泌学会総会 (研究奨励賞受賞講演) 2004

14) 柴田洋孝, 他: 核内受容体によるステロイド

ホルモン産生および作用調節：転写共役因子の重要性 第77回日本内分泌学会総会(シンポジウム講演) 2004

15) 柴田洋孝:アルドステロン産生に関わる転写因子 第77回日本内分泌学会総会(イブニングセミナー-) 2004

16) 柴田洋孝:アルドステロン合成酵素遺伝子の転写調節 第4回北陸高血圧とステロイドホルモン研究会(特別講演) 2004

17) 柴田洋孝,他:副腎皮質ステロイド産生における核内受容体・転写共役因子複合体の機能解析 第2回 Young Endocrinologist Conference 2004

18) Shibata H, et al: Adrenal nuclear receptors and co-regulators International Congress of Endocrinology 2004 (シンポジウム講演) 2004

19) 横田健一,柴田洋孝,他:男性化を主症状とし,子宮嚢胞状腫瘍,下垂体卒中を合併したアンドロゲン産生副腎腫瘍の一例 第49回臨床内分泌代謝研究会 2004

20) 柴田洋孝:副腎皮質ステロイド産生に関する転写調節因子 第12回日本ステロイドホルモン学会(シンポジウム講演) 2004

21) 柴田洋孝,他:原発性アルドステロン症の診断法と問題点 第8回心血管内分泌代謝学会(イブニングセミナー-) 2004

22) 柴田洋孝,他:Ubc9によるミネラルコルチコイド受容体(MR)の転写制御機構 第27回日本分子生物学会年会(ワ-クショップ) 2004

23) 辻岡三南子,柴田洋孝,他:女子高校生における甲状腺検診の意義-頸部触診と抗甲状腺抗体検査による検診と甲状腺疾患の頻度- 第101回日本内科学会総会 2004

24) 村井彩乃,柴田洋孝,他:原発性アルドステロン症における確定診断法の検討 第15回臨床内分泌代謝 Update 2005

25) 須田徳子,柴田洋孝,他:副腎偶発腫瘍症例の臨床的検討 第15回臨床内分泌代謝 Update 2005

26) 柴田洋孝,他:副腎ステロイド産生におけるSF-1およびUbc9, PIAS1の役割 厚生労働省科学研究費補助金 副腎ホルモン産生異常に関する研究班 平成16年度研究報告会 2005

27) 柴田洋孝,他:SUMO化酵素Ubc9, PIAS1による核内受容体の作用調節 第4回ステロイドホルモンを考える会(指名講演) 2005

28) 柴田洋孝,他:核内受容体COUP-TFIによるアルドステロン産生調節機構に関する研究 第5回東京アルドステロンフォーラム (Tokyo Aldosterone Award受賞) 2005

森木 隆典

1) 辻岡三南子,森木隆典,他:女子高校生における甲状腺検診の意義-頸部触診と抗甲状腺抗体

検査による検診と甲状腺疾患の頻度- 第101回日本内科学会総会 2004

2) 肥後綾子,森木隆典,他:大学教職員を対象としたメタボリックシンドローム予防プログラムの評価 第51回日本学校保健学会 2004

3) 肥後綾子,森木隆典,他:大学教職員を対象としたメタボリックシンドローム予防プログラムの評価 第42回全国大学保健管理研究集会 2004

西村 由貴

1) 西村由貴:医師と病名告知:呼称変更後1年を経て 第100回日本精神神経学会 2004

2) 西村由貴:統合失調症の呼称変更と一般人への普及効果 第100回日本精神神経学会 2004

3) 西村由貴:わが国の気分障害の治療にコンセンサスはあるのか:治療ガイドライン作成に当たって 第100回日本精神神経学会 2004

4) 西村由貴,大野 裕,他:「精神分裂病」と「統合失調症」の一般人のイメージ比較:学生と成人,およびメディア介入の効果について 第100回日本精神神経学会 2004

田中 徹哉

1) 田中徹哉,他:小児科医による神経性食欲不振症の予防と早期発見 第51回日本小児保健学会 2004

2) 徳村光昭,田中徹哉,他:「やせ」および「脈拍数」を指標とした神経性食欲不振症のスクリーニング 第51回日本学校保健学会 2004

3) 田中徹哉,他:学校保健での神経性食欲不振症予防,早期発見の試み 第45回日本児童青年精神医学会 2004

4) 田中徹哉,他:神経性食欲不振症予防,早期発見の試み 第107回日本小児科学会学術集会 2004

5) 渡辺久子,田中徹哉,他:神経性食欲不振症の有効な治療のための病院 家族-学校の連携について 第107回日本小児科学会学術集会 2004

6) 田中徹哉,他:学校健診身体計測結果を用いた成長曲線による神経性食欲不振症予防,早期発見の試み 第16回関東児童青年精神保健懇話会 2004

7) 井ノ口美香子,田中徹哉,他:食事調査における休日調査の意義-都市部女子中学生における検討- 第31回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004

8) 武田純枝,田中徹哉,他:女子中学生の食事調査-3日間記録法と頻度法の比較(2報) 第31回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004

藤田 尚代

1) 藤田尚代,他:培養尿管芽細胞周期的伸展刺

- 激によるアポト - シス誘導 - p38, ERK の役割 - 第 39 回日本小児腎臓病学会学術集会 2004
- 2) 藤田尚代, 他: 培養尿管芽細胞周期的伸展刺激による Pax2, TGF- $\beta$ 1 発現, 細胞増殖, アポト - シス誘導 - p38, ERK の役割 - 第 13 回発達腎研究会 2004
- 3) Fujita H, et al: Cyclic Stretch Induces Apoptosis Via ERK and p38 in a Ureteric Bud Cell Line アメリカ腎臓学会 2004 2004
- 4) 徳村光昭, 藤田尚代, 他: 「やせ」および「脈拍数」を指標とした神経性食欲不振症のスクリーニング 第 51 回日本学校保健学会 2004

井ノ口 美香子

- 1) 井ノ口美香子, 他: 2000 年代日本人小児 BMI 成長曲線の作成 - 英国人および中国人小児との比較 - 第 107 回日本小児科学会学術総会 2004
- 2) 井ノ口美香子, 他: 日本人小児における身長, 座高および座高身長比 - 成長曲線の作成と性差の検討 - 第 38 回日本小児内分泌学会 2004
- 3) 堀尚明, 井ノ口美香子, 他: 21 水酸化酵素欠損症成人男性 1 例における testicular tumor の免疫組織化学的検討 第 38 回日本小児内分泌学会 2004
- 4) 本間桂子, 井ノ口美香子, 他: 新生児副腎皮質ステロイド分泌と在胎週数の関係について: 尿ステロイドプロフィールによる検討 第 38 回日本小児内分泌学会 2004
- 5) 井ノ口美香子, 他: THE CROSS-SECTIONAL GROWTH CURVES OF HEIGHT AND SITTING HEIGHT FOR JAPANESE FROM 6 TO 17 YEARS OF AGE: THE 2001 NATIONAL SURVEY DATA - the comparison with English data - The 3<sup>rd</sup> Biennial Scientific Meeting Asia Pacific Paediatric Endocrine Society 2004
- 6) 井ノ口美香子, 他: 血清総コレステロール値の追跡調査 (6 歳から 19 歳) および体格, 生活習慣との関係 第 18 回小児脂質研究会 2004
- 7) 井ノ口美香子, 他: 食事調査における休日調査の意義 - 都市部女子中学生における検討 - 第 31 回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004
- 8) 笠原道弘, 井ノ口美香子, 他: 先天性グルコース・ガラクトース吸収不全症における Na<sup>+</sup> 依存性糖輸送体 (SGLT1) の異常 第 31 回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004
- 9) 井ノ口美香子, 他: 女子中学生の食事調査 - 3 日間記録法と頻度法の比較 (2 報) 第 31 回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004
- 10) 武田純枝, 井ノ口美香子, 他: 女子中学生の食事調査 - 3 日間記録法と頻度法の比較 (2 報) 第 31 回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004
- 11) 本間桂子, 井ノ口美香子, 他: 21-hydroxylase 欠損症新生児の血中ステロイドプロフィール 第 12 回日本ステロイドホルモン学会

- 2004
- 12) 徳村光昭, 井ノ口美香子, 他: 「やせ」および「脈拍数」を指標とした神経性食欲不振症のスクリーニング 第 51 回日本学校保健学会 2004

武田 純枝

- 1) 肥後綾子, 武田純枝, 他: 大学教職員を対象としたメタボリックシンドローム予防プログラムの評価 第 42 回全国大学保健管理研究集会 2004
- 2) 武田純枝, 他: 女子中学生の食事調査 - 3 日間記録法と頻度法の比較 (2 報) 第 31 回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004
- 3) 井ノ口美香子, 武田純枝, 他: 食事調査における休日調査の意義 - 都市部女子中学生における検討 - 第 31 回日本小児栄養消化器肝臓学会 2004

田中 由紀子

- 1) 安藤美穂, 田中由紀子, 他: 結核接触者検診 - QFT 検査が予防内服に関する意思決定に与える影響 - 第 42 回全国大学保健管理研究集会 2004

高山 昌子

- 1) 高山昌子, 他: 高等学校におけるインフルエンザ予防活動 第 51 回日本学校保健学会 2004

藤井 香

- 1) 藤井香, 他: 大学病院における特定業務従事者の健康診断システムとその運用 第 5 回看護情報研究会 2004
- 2) 藤井香, 他: キャンパス内分煙化に伴う学生, 教職員の喫煙行動の変化 第 51 回日本学校保健研究学会 2004
- 3) 肥後綾子, 藤井香, 他: 大学教職員を対象としたメタボリックシンドローム予防プログラムの評価 第 42 回全国大学保健管理研究集会 2004

久根木 康子

- 1) 藤井香, 久根木康子, 他: キャンパス内分煙化に伴う学生, 教職員の喫煙行動の変化 第 51 回日本学校保健学会 2004

安藤 美穂

- 1) 安藤美穂, 他: 結核接触者検診 - QFT 検査が予防内服に関する意思決定に与える影響 - 第 42 回全国大学保健管理研究集会 2004

松本 可愛

1) 安藤美穂,松本可愛,他:結核接触者検診 - QFT 検査が予防内服に関する意思決定に与える影響 - 第 42 回全国大学保健管理研究集会 2004

肥後 綾子

1) 肥後綾子,他:大学教職員を対象としたメタボリックシンドローム予防プログラムの評価 第 42 回全国大学保健管理研究集会 2004

2) 藤井香,肥後綾子,他:キャンパス内分煙化に伴う学生,教職員の喫煙行動の変化 第 51 回日本学校保健学会 2004

3) 藤井香,肥後綾子,他:大学病院における特定業務従事者の健康診断システムとその運用 第 5 回看護情報研究会

山岸 あや

1) 安藤美穂,山岸あや,他:結核接触者検診 - QFT 検査が予防内服に関する意思決定に与える影響 - 第 42 回全国大学保健管理研究集会 2004

青木 和美

1) 安藤美穂,青木和美,他:結核接触者検 - QFT 検査が予防内服に関する意思決定に与える影響 - 第 42 回全国大学保健管理研究集会 2004